

遺族・親族代表の挨拶（告別式用）

本日は、お忙しいところ、父の葬儀そうぎに、ご会葬かいそう賜り、誠にありがとうございました。

また、ご鄭重ていちょうな、ご弔意ちようい、並びに、ご厚志こうしを賜りたまわまして厚く御礼申し上げます。

昭和5年生まれの父は、幼い頃、父親を亡くし、小学校を卒業後、就職をして母親をサポートしたと聞いております。

その後、私たちが養やしなうために定年になるまで仕事一筋しごとひとすじの人でした。

定年後は、趣味の盆栽などをしながら晩年を送っていましたが、約半年前から特別養護老人ホームようご清明苑せいめいえん様にお世話になりまして、11月20日眠るように87歳の生涯を閉じました。

父は、若い頃から様々な苦勞を経験した生涯ではありましたが、大往生だいおうじょうとも言える最後であったことは、子として何よりの慰なぐさめでございます。

ただ、職人^{かたぎ}気質の曲がったことが嫌いな、頑固者でもあったので、皆様に、ご迷惑をおかけしたことも、あったのではないかと心配しております。

この場をお借りしまして、お許し^{ゆる}を賜^{たまわ}りたく、お願い申し上げます。

生前、父に^よ寄せられました皆様の^{こうじょう}ご厚情に対し、心よりお礼申し上げます。

今後とも、亡き父^{べんたつ}同様のご指導、ご鞭撻をお願い致しまして、ご挨拶に変えさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。